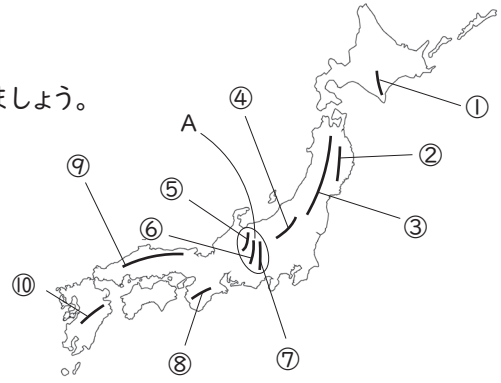


1 次の問いに答えましょう。

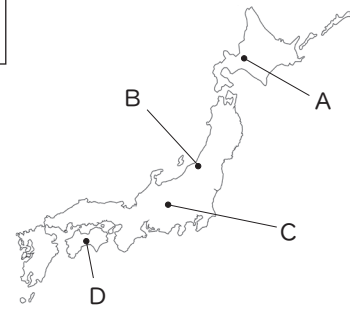
(1) 右の図の ①～⑩ の山地、山脈の名前を下から選んで答えましょう。

- |            |             |      |              |
|------------|-------------|------|--------------|
| ひだ<br>飛騨山脈 | 九州山地        | 日高山脈 | おうう<br>奥羽山脈  |
| 中国山地       | えちご<br>越後山脈 | 赤石山脈 | きたかみ<br>北上高地 |
| きい<br>紀伊山地 | きそ<br>木曾山脈  |      |              |



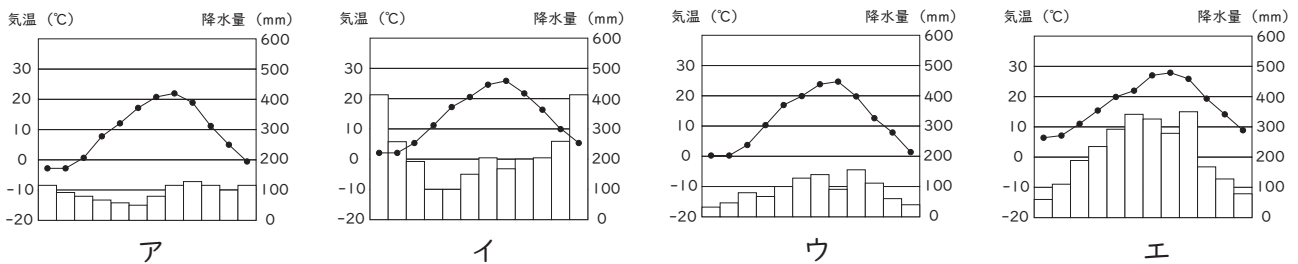
(2) 右の図の A で示されている、⑤～⑦の3つの山脈をあわせて、何といいますか。

(1)	①		②		③	
	④		⑤		⑥	
	⑦		⑧		⑨	
	⑩		(2)			



2 次の問いに答えましょう。

(1) 右の地図上の A～D の場所の気温と降水量のグラフを下の ア～エ からそれぞれ選んで、記号で答えましょう。



(2) ①、② は、どの都道府県の説明ですか。それぞれ答えましょう。

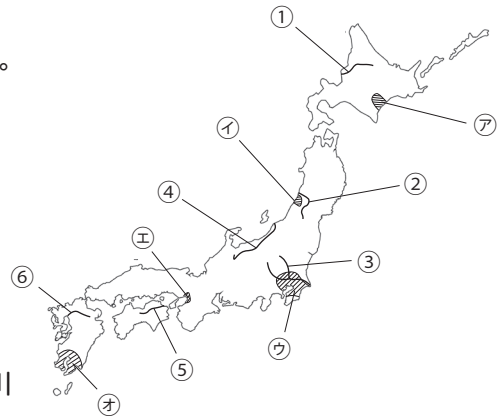
- ① 台風がよく来るため、家を石垣などで囲っている。1972年にアメリカから返還され、軍用地も多く残る。
- ② 広い土地を活かした、農業や酪農がさかん。先住民族のアイヌの人々が、独自の文化を築いてきた。

(1)	A		B		C		D
(2)	①		②				

**1** 次の問いに答えましょう。

(1) 右の図の ㉗~㉟ の平地の名前を、下から選んで答えましょう。

- しょうない 庄内平野      大阪平野      関東平野
- シラス台地      とかち 十勝平野



(2) 右の図の ①~⑥ の川の名前を、下から選んで答えましょう。

- とね 利根川      吉野川      いしかり 石狩川      もがみ 最上川      信濃川      ちくご 筑後川

(1)	㉗	①	㉘
	㉙	②	㉚
(2)	①	③	④
	⑤	⑥	

**2** 次の問いに答えましょう。

(1) 日本で一番長い川を答えましょう。

(2) 日本の川は、ほかの国の川とくらべて、どのような特ちょうがありますか。

「川の長さ」「かたむき」という言葉を使って、かんたんに説明しましょう。

(3) 大きな川の下流の近くでは、土地が低く、水はけが悪いことが多い。そのため、( A ) が多くなり、それを防ぐために、川にそって ( B ) をつくっている。A、B にあてはまる言葉を下から選んで答えましょう。

- ( 地しん      こう水      ていぼう      シェルター      さく )

(1)	(2)
(3) A	B

**1** 次の問いに答えましょう。

(1) 米の収かく量が、一番多い地方はどこですか。下から選んで答えましょう。

( 九州地方      東北地方      北海道地方      近畿地方      )

(2) 田植えの時期として、正しいものを下から1つ 選びましょう。

( 2~3月      5~6月      7~8月      9~10月      )

(3) 右の表は、それぞれの県で米づくりがさかんな平野と  
そこで多くつくられている、米の品種ひんしゅをまとめたものです。  
ア~ウ は下から選び、A、B は、あてはまる平野を答えましょう。

秋田県	ア	秋田平野
山形県	はえぬき	A
宮崎県	イ	仙台平野
新潟県	ウ	B

( ひとめぼれ      あきたこまち      コシヒカリ      )

(1)		(2)	
(3)	ア	イ	ウ
A		B	

**2** 次の問いに答えましょう。

(1) 農業だけで収入を得ている農家を ( A ) といい、農業以外でも収入を得ている農家を ( B ) や自給的農家といいます。 A、B にあてはまる言葉を答えましょう。

(2) 農業で働く人の人数は、昔にくらべて 増えていますか、減っていますか。

(3) 農家を支えるための組織である 農業協同組合を、アルファベット2文字で、何といいますか。

(4) 生産者から消費者へ、生産物を直接とどけることを ( ) によって、新せんな野菜や肉類を買うことができる。 ( ) にあてはまる言葉を答えましょう。

(1)	A	B
(2)	(3)	(4)

**1** 次の問いに答えましょう。

(1) 下のA～Hのグラフが表している農産物の生産地を、下から選んでそれぞれ答えましょう。

( レタス いちご みかん りんご じゃがいも さつまいも 肉用牛 ぶた )

A

青森 57%	長野 20	山形 6	岩手 5	福島 4	その他 8
-----------	----------	---------	---------	---------	----------

E

長野 38%	茨城 15	群馬 8	長崎 5	兵庫 5	その他 29
-----------	----------	---------	---------	---------	-----------

B

北海道 21%	鹿児島 13	宮崎 10	熊本 5	岩手 4	その他 47
------------	-----------	----------	---------	---------	-----------

F

栃木 15%	福岡 11	熊本 7	静岡 7	愛知 6	長崎 6	その他 48
-----------	----------	---------	---------	---------	---------	-----------

C

北海道 79%	長崎 4	鹿児島 4	その他 13
------------	---------	----------	-----------

G

和歌山 20%	愛媛 16	熊本 12	静岡 11	長崎 7	その他 34
------------	----------	----------	----------	---------	-----------

D

鹿児島 14%	宮崎 9	北海道 7	千葉 7	群馬 7	その他 56
------------	---------	----------	---------	---------	-----------

H

鹿児島 35%	茨城 22	千葉 13	宮崎 11	徳島 4	その他 15
------------	----------	----------	----------	---------	-----------

A		B		C		D	
E		F		G		H	

**2** 次の問いに答えましょう。

(1) 高知平野や宮崎平野などでさかな、なす や ピーマンなどの夏野菜を、時期を早めにずらして出荷する栽培方法を、何といいますか。

(2) 東京や大阪などの大消費地の近くで野菜などをつくり、新せんうちに出荷する農業を、何といいますか。

(3) 夏にもすずしい高冷地でレタスなどをつくり、夏に出荷する栽培方法を、何といいますか。

(4) 乳牛を飼い、牛乳やバター、チーズなどの乳せい品を生産する農業を、何といいますか。

(5) (4) が、一番さかな都道府県は、どこですか。

(1)		(2)		(3)	
(4)		(5)			

1 次の問いに答えましょう。

(1) 右の ①～④ の海流の名前を、それぞれ答えましょう。

(2) 右の図の A で示した海域を、何といますか。

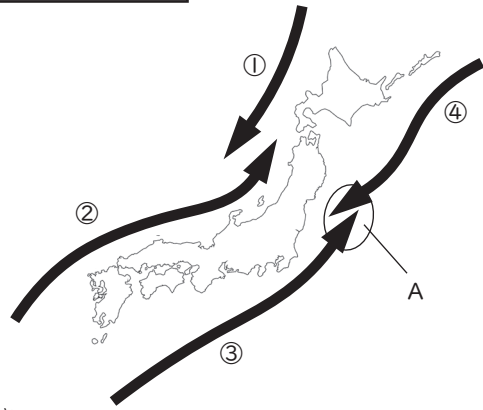
(3) 右の図の A の説明として、正しいものを下の

ア～ウ から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 海流がぶつかる海域で、流れが早いため魚があまり獲れない。

イ 暖流と暖流がぶつかる海域なので、暖流を好む魚が集まる。

ウ 暖流と寒流がぶつかり、プランクトンも多く、たくさんの種類の魚が集まる。



(1)	①		②		③	
④		(2)		(3)		

2 次の問いに答えましょう。

(1) 下の ①～③ が説明している漁業の種類を、それぞれ答えましょう。

① 10t 未満みまんの小さな船を使い、日本近海きんかいの海で日帰りで行う漁業。

② 10t 以上の船で、数日かけて行われる漁業。生産量は一番多いが、現在は 30 年前の半分ほどである。

③ 遠くの海へ長期間かけて行う漁業。他国の近くの海で自由に漁業ができなくなり、生産量がへっている。

(2) (1) の ③ の漁業では、世界の多くの国が、沿岸から ( ) の漁業を制限したため、生産量が減少しています。( ) の中に当てはまる言葉を答えましょう。

(3) 人工的に卵からかえった魚や貝を、大きくなるまで人工的に仕切った池や海で育てて獲る漁業を、何といますか。

(4) 人工的に卵からかえった魚や貝を、海へ放ちはな、大きくなってから獲る漁業を、何といますか。

(1)	①		②		③	
(2)		(3)		(4)		

**1** 次の問いに答えましょう。

(1) 日本の農業・水産業の現在の問題として、正しいものを下の ア～エ から2つ選び、記号で答えましょう。

- ア 農業や水産業で働く人の数が多く、農地などとして使える土地が少なくなっている。
- イ 農業や水産業で働く人の高れい化が進み、働く人の数もへっている。
- ウ 養しよく業や栽培漁業が、海の資源をへらしている。
- エ 海の汚れなどが原因で、プランクトンが大量発生し、赤潮などのひ害がでている。

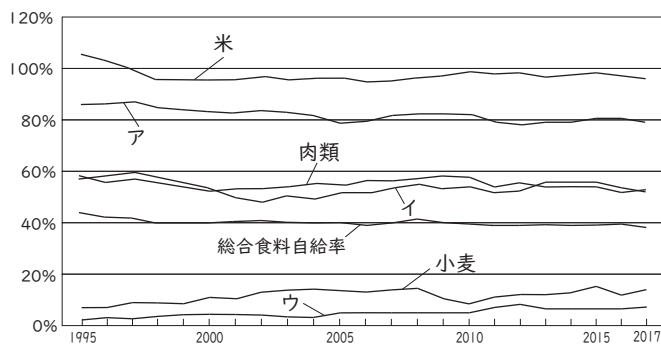
(2) 日本で、食料の輸入が増えてきた理由として、まちがっているものを下の ア～ウ から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 広い耕地で、効りつよく生産する外国産の食料が、日本のものにくらべ安いから。
- イ 日本で生産される食料には、外国産のものにくらべ、多く税金がかかっているから。
- ウ 農産物の輸入制限をゆるめ、外国産の輸入の自由化を進めたから。

(3) 食料の多くを輸入にたよることの問題を、簡単に答えましょう。

(1)		(2)	
(3)			

**2** 下のグラフは、日本のおもな食料自給率を示しています。(1)～(3)の食料の自給率を表しているものを、グラフ中の ア～ウ から選び、記号で答えましょう。



(1) 魚かい類

(2) 大豆

(3) 野菜

(1)		(2)	
(3)			

1 次の問いに答えましょう。

(1) 下の5つの工業をそれぞれ、重工業、軽工業に分けましょう。

( せんい工業    機械工業    化学工業    食料品工業    金属工業    )

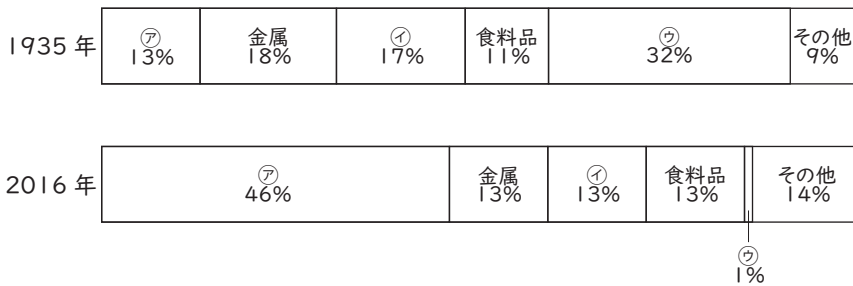
(2) 下の ①、② は、どの工業の説明をしていますか。(1) の5つの工業から選んで答えましょう。

① 石油などを原料にし、ゴムやプラスチックなどをつくる工業。

② 自動車、電気製品や、IC などの半導体製品をつくる工業。

(3) 下のグラフは、1935年と、2016年の工業の生産額の割合です。グラフ中の ㉗～㉙ の工業を、

(1) の5つの工業から選んで答えましょう。



(1)	重工業		軽工業	
(2)	①		②	
(3)	㉗		㉘	㉙

2 次の問いに答えましょう。

(1) 大工場に対して、中小工場は、働く人が ( ) 人に満たない工場です。

( ) に当てはまる数を答えましょう。

(2) 工場数が多いのは、大工場と中小工場ではどちらですか。

(3) 大工場と中小工場において、軽工業の生産額は ( A ) の方が多く、重工業の生産額は ( B ) の方が多い。

A、B にそれぞれ 大工場、中小工場をいれ、正しい文章にしましょう。

(1)		(2)	
(3)	A	B	

1 次の問いに答えましょう。

(1) 右の図の A～C は日本の三大工業地帯です。

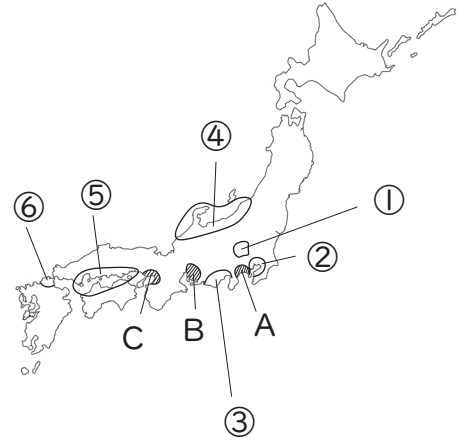
それぞれの工業地帯の名前を答えましょう。

(2) ①～⑥ の工業地域の名前を、下から選び

それぞれ答えましょう。

京葉工業地域    北九州工業地域    北陸工業地域

関東内陸工業地域    東海工業地域    瀬戸内工業地域



(3) 下の ア～ウ は、A～C の工業地帯について説明しています。

ア～ウ が、どの工業地帯について説明しているか、A～C からそれぞれ選び、記号で答えましょう。

ア 機械工業がさかんで、多くの自動車の関連工場がある。総生産額が日本1位。

イ 日本で2番目の出荷額をほこり、機械、金属、化学工業がさかん。中小工場が多い。

ウ 都心に近いことから、印刷業がさかん。日本一の生産額をほこったが、ほか2つの工業地帯にぬかれた。

(1)	A		B		C	
(2)	①		②		③	
④		⑤		⑥		
(3)	ア		イ		ウ	

2 次の問いに答えましょう。

(1) 九州北部から関東地方にかけてに広がっている、工業がさかんな地域が帯のように集まっているところを、何といいますか。

(2) 工業のさかんな地域は、海ぞいに多くあります。その理由を簡単に答えましょう。

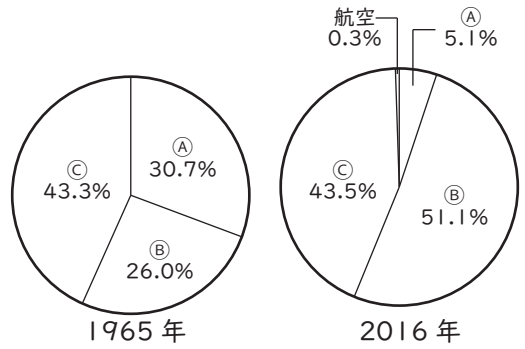
(3) 近年は、関東内陸工業地域のように、海に面さない工業地域がつくられています。このような場所では、近くに ( ) が通っているのです、そこから製品などを運んでいる。( ) に当てはまる言葉を答えましょう。

(1)		
(3)		(2)



1 次の問いに答えましょう。

(1) 右のグラフは、1965年と2016年の貨物<sup>ゆうそう</sup>輸送の割合のグラフです。A～Cの輸送方法を、船、鉄道、自動車からそれぞれ選び、答えましょう。



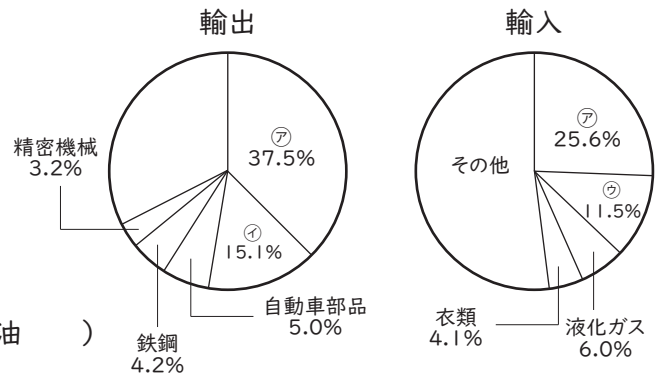
(2) 下の①、②が説明している輸送方法を、船、鉄道、自動車、航空からそれぞれ選び、答えましょう。

- ① たくさんの貨物を一度に運べるので、輸送費用が安く、石油やコンテナなどの輸送に使われる。
- ② 多くのものを輸送することはできないが、ほかの方法にくらべて速いので、肉類や水産物などの生せん品や、小さくて軽いICなどを運ぶのに使われる。

(1)	A		B		C	
(2)	①		②			

2 次の問いに答えましょう。

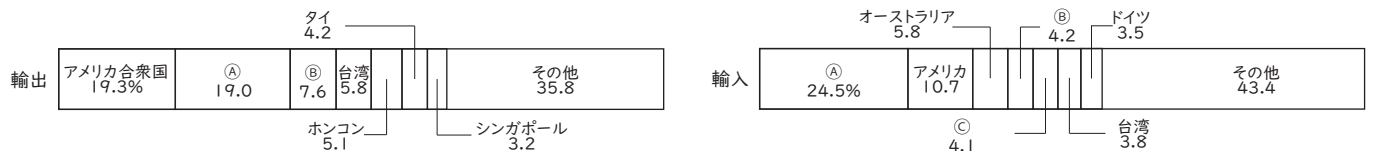
(1) 右のグラフは2017年の日本の輸出入品目の割合を示しています。ア～ウに当てはまる品目を下から選び、それぞれ答えましょう。



( せんい品    機械類    自動車    石炭    石油 )

(2) 日本は石炭や石油などの原料を輸入し、それを加工した製品を輸出していました。このような貿易を何とといいますか。

(3) 下のグラフは、輸出と輸入の相手国の割合を表したものです。A～Cの国の名前を、それぞれ答えましょう。



(4) 輸出額と輸入額の差によっておこる、相手国との貿易上の問題を何とといいますか。

(1)	ア		イ		ウ	
(2)			(3)	A		B
C			(4)			